

# ちょっと大人に読んで欲しい

# 石神夢現

Ishigami MUGEN

発行: 石神中学校

## 【今後の行事】

- 7月20日(木) 1学期終業式
- 7月22日(土)～ 県総体
- 8月17日(木)18日(金) 学力強化事業(3年)
- 8月25日(金) 2学期始業式・俳写コンクール
- 8月28日(月) 1・2年夏休み課題テスト 3年生第4回実力テスト
- 8月26日(土) PTA奉仕作業・リサイクル活動
- 8月28日(月) 夏休み課題テスト 教育相談～9月1日
- 9月6日(水) 相双地区駅伝大会
- 9月21日(木)・22日(金) 体験学習
- 10月6日(金) 中間テスト
- 10月28日(土) 文化祭
- 11月21日(火)～ 2学期期末テスト
- 11月29日(水)～ 三者懇談

私たち大人の関わり方一つで、子どもは幸せにも不幸せにもなるもの。ふと我に返って考えてみたいものです。

「子どもは大人の鏡」

ドロシー・L・ノテル

子どもは、批判されて育つと、人を責めることを学ぶ。

子どもは、憎しみの中で育つと、人と争うことを学ぶ。

子どもは、恐怖の中で育つと、オドオドした小心者になる。

子どもは、憐れみを受けて育つと、自分を可哀想だと思ってしまう。

子どもは、馬鹿にされて育つと、自分を表現できなくなる。

子どもは、嫉妬の中で育つと、人をねたむようになる。

子どもは、ひげめを感じながら育つと、罪悪感を持つようになる。

子どもは、辛抱強さを見て育つと、耐えることを学ぶ。

子どもは、正直さと公平さを見て育つと、真実と正義を学ぶ。

子どもは、励まされて育つと、自信をもつようになる。

子どもは、ほめられ育つと、人に感謝するようになる。

子どもは、存在を認められて育つと、自分が好きになる。

子どもは、努力を認められて育つと、目標を持つようになる。

子どもは、皆で分けあうのを見て育つと、人に分け与えるようになる。

子どもは、静かな落ち着いた着きの中で育つと、平和な心を持つようになる。

子どもは、安心感を与えられて育つと、自分や人を信じるようになる。

子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと、生きることが楽しいことだと知る。

子どもは、まわりから受け入れられて育つと、世界中が愛であふれていることを知る。

あなたの子どもたちはどんな環境で育っていますか。

## 平和の尊厳を想う夏

私の故郷である鹿児島県には、奄美大島という大きな島があります。私の父親が生まれ育った島であり、私が大好きな島です。海も山も空も大変綺麗で是非一度は訪れても

らいたい島でもあります。この奄美大島は実は「日本ではあるが日本ではない時期」がありました。第二次世界大戦敗戦後にアメリカの施政権下に置かれ、日本本土との分離を余儀なくされました。物流が途絶え飢餓に苦しんだ

島民は、「ハンガーストライキを行い、小中学生が血判状を提出する事態も発生した。(ウイキペディアより)」。そして願いは叶い、1953年(昭和28年)12月25日に日本復帰が実現しました。

鹿児島県の知覧(現南九州市)には、戦時中に特攻隊の基地があり、南方での戦闘に向けゼロ戦でこの地から飛び立った多くの兵士がいました。多くはまだ16歳や17歳など若い兵士が多く、特攻平和記念会館に残されている両

親へあてた別れの手紙など、涙無くしては見られないものばかりです。九州の長崎県長崎市には1945年(昭和20年)8月9日午前11時02分に原子爆弾が投下され、7万4千人の尊い命が失われました。その3日前の6日(8月6日)午前8時15分には広島に世界で初の原子爆弾が投下され、9万人がいし12万人の尊い命が失われました。そして、8月15日の終戦記念日。

私たちが今生活していて、とても考えられないような過去があつた事に驚きながらも、先人達の苦しみと共に、平和への強い願いを感じ取らなくてはならないと思います。この夏だからこそ、お爺ちゃんやお婆ちゃん、地域の方々といろんな話をして、「命のバトン」を考えてみてほしい

のかもしれません。

(文責 大村 勝)